

仲島 ゆうた

伊奈町議会議員



子どもが夢を描き、高齢者がほっと微笑む町へ
 〒362-0806 伊奈町大字小室4107番地10号
 TEL. 090-7429-3757 FAX.048-661-7244
 E-mail. n42.yuta930.kagayaku.inatown@gmail.com

令和8年3月(第1回)定例会 会期：令和8年2月25日から令和8年3月18日 (22日間)

ご挨拶 町民の皆さまには、日頃より町政並びに議会活動に対し、温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。本号では、令和8年3月定例会および新年度予算審議の概要についてご報告いたします。3月議会は、町の一年間の行政運営の方向性を定める重要な議会であり、皆さまからお預かりした大切な税金がどのように使われるのかを決める場でもあります。予算とは、子育て、福祉、教育、防災など、町民生活に直結するさまざまな施策の土台となるものです。議会では、限られた財源の中で何を優先すべきかという視点から、

新年度予算について活発な議論が行われました。しかしながら、議会でのどのような議論が行われ、どのような判断がなされているのかは、町民の皆さまにとって見えにくい部分も少なくありません。だからこそ、議会の状況についてできる限り分かりやすくお伝えすることが、議員としての大切な責務であると考えております。本号では、新年度予算を中心に町政の動きを整理してお伝えいたします。この町政レポートが、町政を身近に感じていただく一助となれば幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

仲島 ゆうた

この定例会で提出された議案は、36件です。全て原案とおり可決されました。

◎第15号議案
令和8年度伊奈町国民健康保険特別会計予算

町民の皆様が安心して適切な医療を受けられるよう、持続可能で安定した制度運営を図るため、総額33億6,642万1千円の国民健康保険特別会計予算を編成した議案。国保事業の健全な運営を維持するため、また、国による新たな「子ども・子育て支援金制度」の創設に伴う納付金に対応するため、第24号議案にて保険料の改定（値上げ）を行います。本予算にはその内容が反映されています。お預かりした保険料は、日々の医療給付費や新たな子育て支援の納付金などに充てられます。

◎第24号議案
伊奈町国民健康保険料条例の一部を改正する条例

伊奈町の国保事業を安定して運営し、地域の医療体制を守るため、保険料の改定を行う議案です。具体的には、医療分などの「所得割額」と「均等割額」を引き上げ、国の「子ども・子育て支援金制度」創設に伴う支援金分を新たに追加します。一方で、町民の皆様への一方的な値上げとならないよう、所得に応じた軽減制度や、未就学児にかかる均等割額の減額、出産される方の産前産後期間の減額措置などもあわせて規定し、極端な負担増を抑える配慮を行っています。持続可能な医療制度を維持するための大切な見直しに、ご理解をお願いいたします。

◎第29号議案
伊奈町下水道条例の一部を改正する条例

公共下水道事業の安定的な運営を維持するため、下水道使用料の改定（値上げ）を行う議案。1か月10立方メートルまでの「基本使用料」を、現行の800円から1,117円に引き上げます。（使用量に応じた超過使用料の単価に変更はありません）町民の皆様の家計への負担を和らげるため、水道料金改定から半年遅らせた「令和9年4月1日」を施行日としています。

これらの議案は、私が注視したものです。これ以外にも『令和8年度伊奈町一般会計予算』や『埼玉県県民活動総合センターの維持発展を求める意見書』などがあります。

◎仲島ゆうたの活動を支える世話人募集◎

私は、議会活動だけでなく、日々の暮らしの中で感じる声を大切にしています。町のことを一緒に話し合い、身近な気づきを教えてください。無理のない範囲で、地域の様子を共有していただく「世話人」のような立場です。伊奈町を思う気持ちを大切に、ゆっくり、無理なく関わっていただけるとの縁を大切にしたいと考えています。

- 《主な活動内容例》
- ・町政レポートなど読んだ感想の共有
 - ・散歩・買い物途中で気づいた地域の変化の共有
 - ・道路や公園、身近な環境についての気づきの共有
 - ・地域行事や集まりでの情報交換
 - ・困っている方がいるときの声かけやつなぎ役
 - ・日常のお話や交流など
 - ・会話をしながら一緒に町政レポートのポスティング など

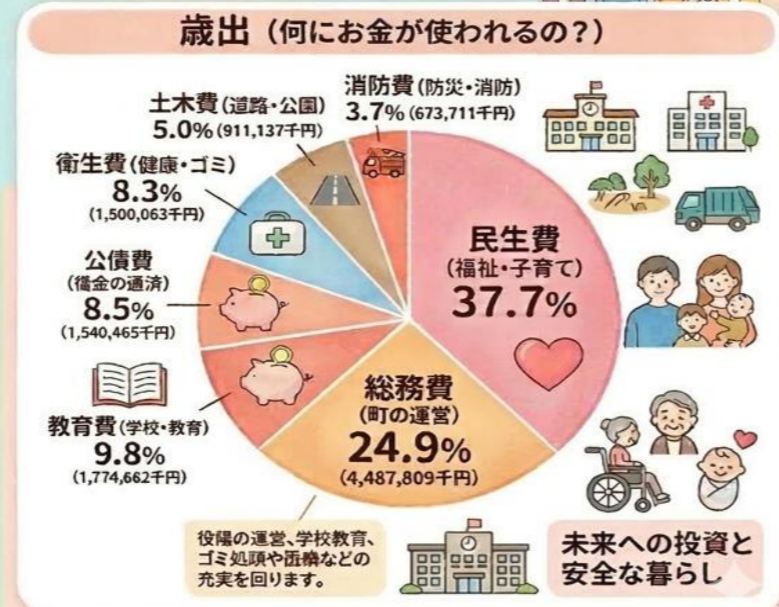
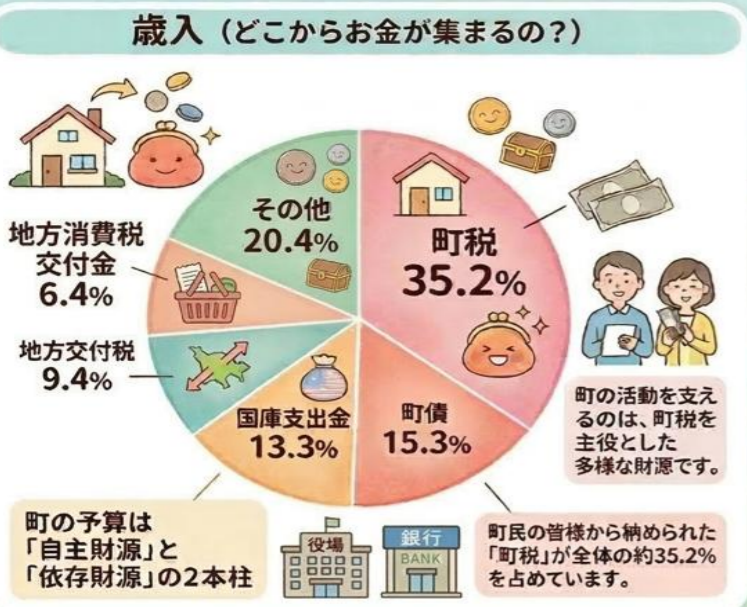
ご関心のある方は、是非、下記の携帯電話またはメールアドレスまでご連絡ください。
携帯電話:090-7429-3757
 n42.yuta930.kagayaku.inatown@gmail.com

◇予算報告◇ **一般会計当初予算 歳入総額 (前年度より27億400万、+17.6%増)**
180億6,000万円

「令和8年度予算は過去最大！私たちの暮らしはどう変わるのか？」

令和8年度わたしたちの町の予算：お金の集まり方と使い道

令和8年度の一般会計予算総額は180億6,000万円です。この予算が「どこから集まり(歳入)」、「何に使われるのか(歳出)」を、町民の生活に直結する項目に絞って解説します。



◎第28号議案
伊奈町水道事業給水条例の一部を改正する条例

今後も安全な水を安定してお届けし、水道事業の健全化を図るため、基本料金および従量料金の改定する議案。この改定は、持続可能な水道サービス維持に不可欠なものです。町民の皆様への一方的な負担増とならないよう配慮しています。具体的には、令和8年10月1日の施行日前から継続して水道をご利用の方には、施行後一定期間の料金に旧料金を適用する経過措置を設け、激な家計への影響を和らげています。

伊奈町議会議員 **仲島ゆうた** プロフィール

- お困りのことがございましたら是非ともお声がけください。行動力には自信があります。
- 昭和42年7月26日生まれ 丸山地区(小室在住)
 - 埼玉県立浦和北高等学校卒業
 - トヨタ学園日本自動車整備専門学校卒業
 - 自動車整備専門学校技術教員経験
 - NPO法人IBDネットワーク 就労特任理事
 - 総務建設産業常任委員会 副委員長
 - 議会運営委員会
 - 丸山地区自主防犯部長及び地域防犯推進委員
 - 伊奈町消防団 第一分団所属
 - 「私のふるさと伊奈町です。」と胸を張って言える様なまちづくりを目指しています。
 - 妻(看護師)、長女、長男、愛猫の茶々丸(♂)写真左、のん(♀)写真右

あなたのお力をお貸しください!! 応援よろしくお願いいたします。

私と伊奈町について考えてくださる「世話人」募集

連絡先: 090-7429-3757 E-mail. n42.yuta930.kagayaku.inatown@gmail.com

仲島ゆうた 町政レポートVol.11

◎ 一般質問 <リチウムイオン電池に起因する火災防止と適正処理体制について>

近年、リチウムイオン電池に起因するごみ収集車や処理施設での火災が全国で相次ぎ、住民生活や財政に影響を及ぼしています。背景には電動製品の急速な普及があり、家庭内に蓄積された電池が収集や処理の過程で損傷し、発火するリスクが高まっています。多くは分別の分かりにくさや回収方法の課題も影響しています。今後の廃棄量増加を見据え、事故を未然に防ぐ仕組みづくりが不可欠です。

本定例会では、回収や保管、処理体制の現状を検証し、町民が安全に行動できる環境整備の方向性を問いました。



◀ 質問の内容や議場の様子はネット配信で確認できます。左側の二次元バーコードからどうぞ！

仲島ゆうたが3月に行った

一般質問概要のご紹介

Q: 相次ぐリチウムイオン電池を起因とする火災や事故について町としてどのような課題と捉え、どの程度のリスクとして認識しているのか伺う。



A: リチウムイオン電池は、充電して繰り返し使えるため、便利である一方、過充電や破損、強い衝撃を与える等取り扱いを誤ることで、発火や発熱しごみ収集車やごみ処理施設での火災につながる危険性を有することを課題と捉えている。一方、製造事業者が規定した使用方法や、適切に分別・保管されている場合においては、火災に至る事例は限定的であるため、リスクは管理可能であると考えている。

Q: リチウムイオン電池の火災リスクや適正な取扱い方法について、町民の理解度や安全意識の現状を、町として具体的なデータや実態に基づき把握しているのか伺う。



A: リチウムイオン電池を内蔵している充電式小型家電につきましては、現在、町役場及びゆめくるに回収ボックスを設置している。回収量が年々増加していることから、認知度も上がっていると考えている。一方で、件数は把握していない。充電式小型家電が可燃ごみ及び不燃ごみ等に混入されている事例も確認されており、町民の皆様に十分に理解が行き渡っているとはいえず、周知の方法や内容について工夫が必要である。

Q: 町として、リチウムイオン電池の火災予防や事故防止について、どのような周知・啓発を行ってきたのか伺う。あわせて、その周知がどの程度効果を上げているのかについても示してください。



A: リチウムイオン電池の排出方法については、毎年、広報で周知している。リチウムイオン電池の捨て方に関する問い合わせ件数が増加していることから、確実に町民への理解度は上がっていると考えている。

Q: 将来にわたる安全意識の醸成の観点から、学校教育や社会教育において、リチウムイオン電池を含む身近な危険物に関する、安全教育を実施することについて、町としてどのように考えているのか伺う。



A: 学校教育において生活安全の一環として、発達の段階に応じて、基本的な留意点や異常時の適切な行動について取り上げていくことには意義があると考えます。安全教育についても、学校のみならず家庭での理解も重要であることから、基本的な取扱い等に関する情報について、関係部署とも情報共有を図りつつ、適切な周知の在り方を検討する。

Q: JBRC会員以外の製品や膨張・変形したリチウムイオン電池について、町民が迷わず適切に排出できるために、どのように周知し、回収に繋げるのか伺う。



A: ホームページでJBRCの回収協力店及び回収可能な製品に関するホームページを案内するとともに、協力店での回収が出来ない製品の排出方法について、具体的で分かりやすい写真やイラストを用いた周知を行い、適切な排出に繋げる。

Q: 回収から処理までの一連の工程で、町が特に火災リスクが高いと認識している場面はどこか。また、その場面において、どの点に注意し、どのような火災防止対策を重点的に講じているのか伺う。





A: 構造上、衝撃や外圧により発熱や発火するリスクが高い。そのため、ごみを細かくする破砕機周辺や破砕された廃棄物の貯留施設において発生している。火災防止対策は、手選別により出来る限り除去を行い、発火リスクを未然に防ぎ、また、破砕工程においては複数人での監視のもと作業を行うようルール化を図っている。また、熱感知機器と連動したスプリンクラーなどにより初期消火にあたっている。

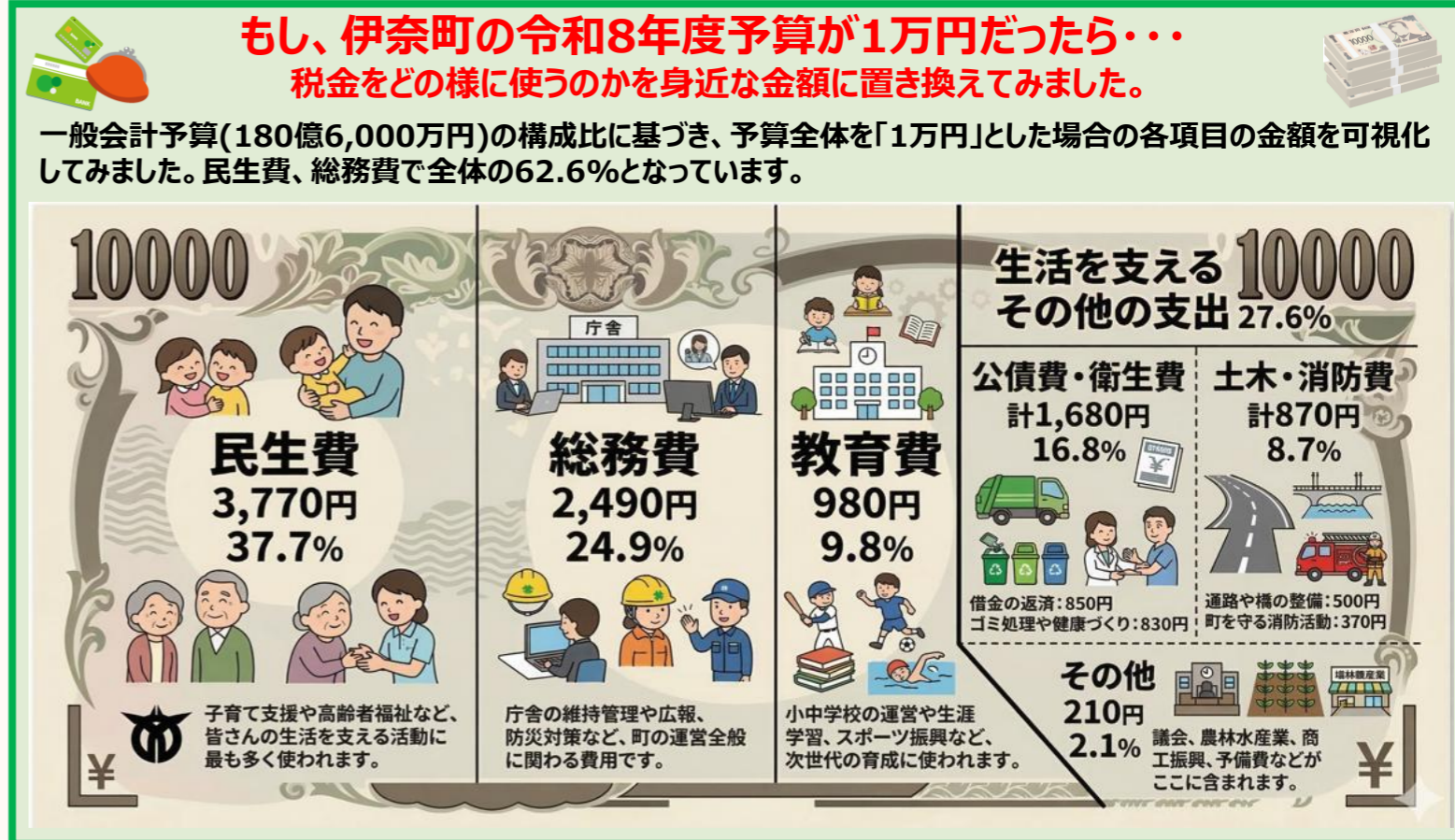


◇ 令和8年度予算における一部事業紹介 ◇ ● 予算額が大きい事業の一部 ●

<p>役場庁舎建設事業 25億9,257万円</p>  <p>令和9年8月末引渡し、令和10年8月竣工に向けて建設工事を実施。</p>	<p>小中学校ICT教育環境維持管理事業 4億8,346万円</p>  <p>児童生徒用端末更新やICT環境改善、学習環境の整備実施。</p>	<p>小中学校整備事業 5,618万円</p>  <p>体育館空調整備に向けた設計や設備補修等の環境整備。</p>	<p>町村情報システム共同化推進事業 1億6,713万円</p>  <p>県内町村情報システム共同化による主要な基幹業務システム安定化を図る。</p>
--	--	--	--

● 私が注目する事業の一部 ● (下記以外にも新規や拡充、継続など注目事業はございます。一部ですが、紹介します。)

<p>緊急浚渫事業 1,813万円 新</p>  <p>ゲリラ豪雨等による浸水被害から町民を守るための治水・排水機能回復を図る。</p>	<p>AIオンデマンドバス導入事業 4,903万円 新</p>  <p>町内循環バス運行形態を見直し、利便性や満足度向上を図るためデマンドバス準備を実施。</p>	<p>フレイル対策等保険事業 1,45万円 KEEP</p>  <p>75歳以上を対象。管理栄養士や歯科衛生士の専門職によるフレイル改善を図る。</p>	<p>病児・緊急対応ファミリーサポート事業 63万円 新</p>  <p>緊急時に子どもを預かり保護者の子育て、仕事と家事の両立をし、子育てを支援する。</p>
---	--	---	---



令和8年度予算に関する総括

令和8年度予算は、新庁舎建設や小中学校体育館の空調整備、AIオンデマンドバス導入など、町の未来を創るための積極的な投資が目立つ過去最大規模の予算となりました。これらは、次世代へ伊奈町を引き継ぐための重要なプラスの投資です。一方で、持続可能な行政運営には将来を見据えた財政計画が不可欠です。

今後は、単に予算を削るのではなく、「持続可能な財政構造への転換」を見据え、DXによる事務効率化、ふるさと納税を活用した自主財源の確保、民生費増大等の社会情勢の変化に合わせた既存事業の計画的な取捨選択など、事業を見直す発想を町民の皆さまと共に大切にしていきたいと考えます。